

県民意見募集で寄せられた意見と県の考え方について

「県立美術館基本構想答申」について、平成22年12月15日から平成23年1月31日までの間、ご意見を募集しました。

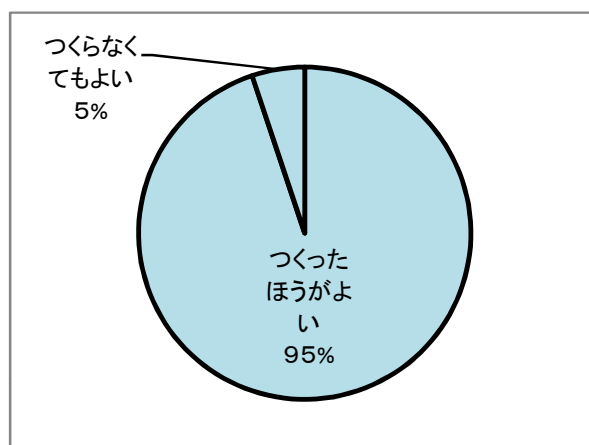
その結果、1,913名の方々から18,726件のご意見をいただきました。

寄せられたご意見の概要とそれに対する県の考え方を以下のとおり公表します。

各項目の計数は、表示単位未満を四捨五入したもので、その内訳は合計と一致しない場合があります。

【設問1】 新しい県立美術館について、あなたはどのように思いますか？

	回答人数	割合
つくったほうがよい	1,815 人	95 %
つくらなくてもよい	98 人	5 %
計	1,913 人	100 %



提出者所在地	回答人数	割合
大分市	1,002 人	52 %
別府市	570 人	30 %
由布市	144 人	8 %
豊後大野市	39 人	2 %
日出町	33 人	2 %
臼杵市	25 人	1 %
佐伯市	15 人	1 %
宇佐市	13 人	1 %
竹田市	12 人	1 %
玖珠町	11 人	1 %
杵築市	10 人	1 %
国東市	9 人	0 %
中津市	9 人	0 %
津久見市	8 人	0 %
日田市	7 人	0 %
豊後高田市	3 人	0 %
県外	2 人	0 %
九重町	1 人	0 %
計	1,913 人	100 %

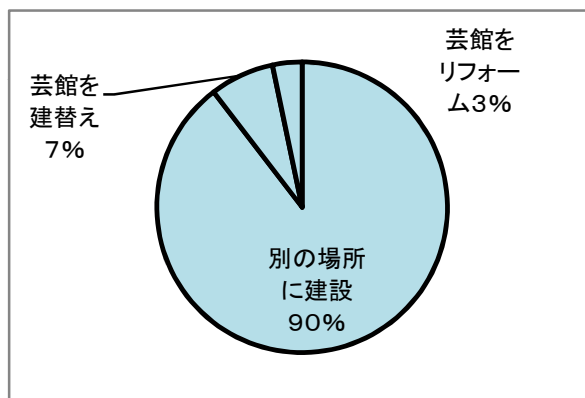
【設問1-2】 つくらなくてもよい理由

38通り、81件の回答をいただきました。そのうち、5人以上回答があったものを記載しています。全ての回答は、詳細版に掲載しています。

ご意見の概要	回答件数	割合
建設費の借金を孫の代まで残すべきではない。 財政状況が厳しい。 県財政の健全化を急ぐべきだ。未来を担う子どもたちに借金を負わせてはいけない。 必要性は理解できるが財源はあるのか。 経済状況が厳しい折、福祉問題、景気対策など他に優先すべき事業がある。 もっと他に優先順位がある。生きる金の使い方を。 人口も少ないのに無駄な税金を使わないで欲しい。	14人	17%
今あるから(芸術会館)十分。	8人	10%
現在の芸術会館を大きく建て直してほしい。県立芸術会館の拡充整備で良い。	8人	10%
大分市美術館があるので十分。	7人	9%
あまり行くことがないのでよくわからない。	6人	7%

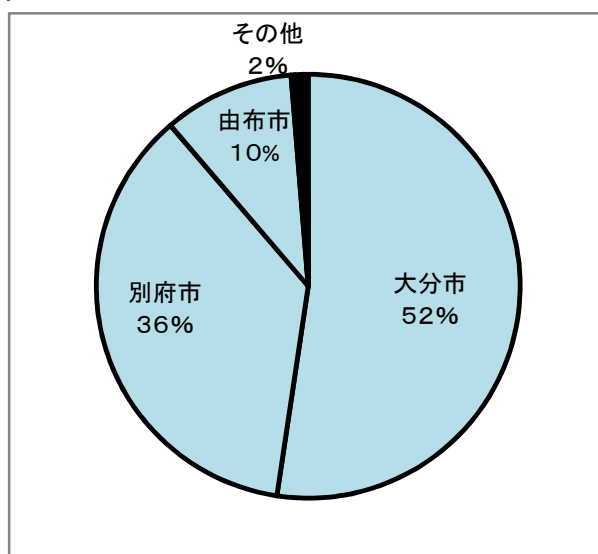
【設問2】 県立美術館の整備について、あなたはどのように思いますか？

	回答人数	割合
芸術会館とは別の場所に建設	1,615人	90%
芸術会館を建替え	129人	7%
芸術会館をリフォーム	59人	3%
計	1,803人	100%



【設問3】 新しい美術館はどこにつくるのがよいと思いますか？

市町村名	回答人数	割合
大分市	841人	52%
別府市	584人	36%
由布市	160人	10%
日出町	5人	0%
佐伯市	5人	0%
日田市	4人	0%
中津市	2人	0%
臼杵市	2人	0%
竹田市	1人	0%
国東市	1人	0%
杵築市	1人	0%
宇佐市	1人	0%
計	1,607人	100%



設問3 選択市町村地域別分析表

選択市町村	提出者数(人)	提出者の所在地			
		選択市町村在住者		その他	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
大分市	841	681	81	160	19
別府市	584	494	85	90	15
由布市	160	127	79	33	21
日出町	5	3	60	2	40
佐伯市	5	1	20	4	80
日田市	4	3	75	1	25
中津市	2	0	0	2	100
臼杵市	2	2	100	0	0
竹田市	1	0	0	1	100
国東市	1	0	0	1	100
杵築市	1	1	100	0	0
宇佐市	1	1	100	0	0
計	1,607	1,313		294	

その他の内訳	提出者数(人)
大分市	別府市45人、豊後大野市33人、臼杵市15人、日出町13人、由布市8人、竹田市7人、宇佐市7人、中津市7人、玖珠町6人、国東市5人、杵築市5人、佐伯市5人、津久見市2人、九重町1人、県外1人
別府市	大分市49人、日出町17人、宇佐市6人、杵築市4人、由布市3人、国東市2人、佐伯市2人、豊後大野市2人、豊後高田市1人、臼杵市1人、津久見市1人、中津市1人、玖珠町1人
由布市	大分市23人、別府市4人、中津市1人、臼杵市1人、竹田市1人、日出町2人、玖珠町1人
日出町	大分市1人、別府市1人
佐伯市	大分市2人、別府市2人
日田市	臼杵市1人
中津市	別府市1人、臼杵市1人
臼杵市	
竹田市	臼杵市1人
国東市	大分市1人
杵築市	
宇佐市	

【設問3】 具体的な場所があればご記入ください。

182通り、1, 172件の回答をいただきました。そのうち、5人以上回答があったものを記載しています。全ての回答は、詳細版に掲載しています。

具体的な場所	回答人数	割合
旧厚生学院跡地	139 人	12 %
大分駅周辺	111 人	9 %
JR南由布駅周辺	107 人	9 %
ビーコンプラザ周辺	104 人	9 %
大分駅南	79 人	7 %
別府市役所上の松林	78 人	7 %
大分城址公園	50 人	4 %
別府公園	42 人	4 %
別府公園周辺	35 人	3 %
大分IC周辺(金谷迫)	27 人	2 %
パルコ跡のビル	21 人	2 %
大分市中心部	17 人	1 %
別府市営温泉プール跡地	17 人	1 %
別府駅周辺	14 人	1 %
湯布院町	14 人	1 %
別府市役所周辺	12 人	1 %
スポーツ公園周辺	11 人	1 %
別府市美術館敷地	11 人	1 %
わさだタウン周辺	8 人	1 %
高校改革後の別府商業跡地	7 人	1 %
iichiko総合文化センター周辺	6 人	1 %

具体的な場所	回答人数	割合
大分市元町九州乳業跡地	6人	1%
旧別府市立南小学校	6人	1%
富士紡績敷地	6人	1%
大分市市街地	5人	0%
大分市植田地区	5人	0%
野口原運動場周辺	5人	0%
豊後国分駅周辺	5人	0%
別府国際観光港周辺	5人	0%

【参 考】市町村別エリア別分析表(100人以上の回答があった4カ所について整理したもの)

市町村名	具体的な場所	回答人数	割合	
大分市	旧厚生学院跡地	139人	12%	145人
	iiichiko総合文化センター周辺	6人	1%	
	大分駅周辺	111人	9%	193人
	大分駅南	79人	7%	
	大分駅ビルの中	3人	0%	
別府市	ビーコンプラザ周辺	104人	9%	271人
	別府市役所上の松林	78人	7%	
	別府公園	42人	4%	
	別府公園周辺	35人	3%	
	別府市役所周辺	12人	1%	
由布市	JR南由布駅周辺	107人	9%	121人
	湯布院町	14人	1%	

【設問4】 設問2で芸術会館の建替えを選択した理由を教えてください。

57通り、118件の回答をいただきました。そのうち、5人以上回答があったものを記載しています。全ての回答は、詳細版に掲載しています。

ご意見の概要	回答件数	割合
新たな場所の用地取得が伴うため、過大の費用がかかると予測される	12 人	10 %
何より場所が便利	11 人	9 %
新しい土地を探さなくていいから	9 人	8 %
美術館が良ければ場所は今の場所でもいい。	8 人	7 %
長年親しまれた場所の方が行きやすい(バスの便はもう少し良くしてもらいたいが)	7 人	6 %

【設問4-2】 設問2で芸術会館のリフォームを選択した理由を教えてください。

22通り、43件の回答をいただきました。そのうち、5人以上回答があったものを記載しています。全ての回答は、詳細版に掲載しています。

ご意見の概要	回答件数	割合
経費面での負担。予算を少なくするため	11 人	26 %
今あるものの有効利用	5 人	12 %

【設問5】 美術館の機能の考え方の中で、共感の持てるものを選んでください。(複数回答可)

建物の魅力(周囲の街との調和、美術館としての個性と機能性、来館者がワクワクするような仕掛け)	1,114 人
県民が芸術文化に触れる機会の充実(子どもたちの芸術と出会いの場、県民の生涯学習の場)	1,126 人
ユニバーサルデザインの徹底	604 人
ランニングコストにも十分配慮した地球環境に優しい施設	797 人
多様な情報通信技術・メディアを活用した積極的な情報発信	544 人
芸術の表現方法の変化などにも対応可能な柔軟性	721 人

【設問6】 県立美術館の機能についてご意見があればお聞かせください。

338通り、731件の回答をいただきました。そのうち、5人以上回答があったものを記載しています。全ての回答は、詳細版に掲載しています。

ご意見の概要	回答件数	割合
カフェやレストラン、ミュージアムショップなど憩いの場(無料ゾーン)が充実した美術館。 美術品を鑑賞した後にゆっくり休めるティールームは設けて欲しい。 入館料無しで使用できる設備(カフェなど)の併設。 ゆっくり外の景色を見ながらお茶できるスペースが欲しい。 おしゃれなカフェなどは必須 お茶や食事等が出来れば幸せです。 館内や近くに憩いの場として、安価な食事店を設置してほしい。 喫茶店等があればよい 生活を新たにするような機能あふれる大食堂がいつでもオープンであること	53人	7%
各階を異動可能なスロープの回廊、階段を少なくする、エスカレーターやエレベーターの設置など高齢者、障がい者、子どもにやさしいものにしてほしい。 高齢者や子ども、障がい者に優しいバリアフリーの造りにしてほしい。	33人	5%
子どもたちが本物の芸術や文化に直接・気軽にふれあえる施設。 子どもたちの感性を磨くようなことができるといい。 子ども達が遊べるスペースをつくる。 小さい子どもが芸術に触れるコーナーまたは教室の設置。 子ども達が毎日絵が描ける、「遊び」から文化を学べる、そんなスペースも必要。 子どもが楽しめる場所があるといい、また託児サービスは必須。 子どもの芸術教育や課外活動への支援。 子どもの感性を引き出すようなプログラムや施設の整備。 教育・体験施設。	31人	4%
展示室(常設、特別)のスペースの拡充	24人	3%
休憩施設等、憩いの場を提供できる十分なスペースを取り、心休めながら芸術を堪能できるようにしてほしい。	19人	3%
公園を兼ね備えた美術館	17人	2%
体験可能な施設	15人	2%
周辺の環境や自然が一体となった美術館	13人	2%
コンクリート造りに緑のカーテン、中は日田杉や間伐材を利用 コンクリートづくりでなく違った形のもの 近代的なものでなく、ある程度の利用性のあるアナログ的な建物 県産木材をふんだんに取り入れ、現代建築と日本古来の伝統技術を活かした建築物を目指してほしい。 日本木材で作ること 竹製コーナー、竹を使った建築 建物そのものに大分らしさや芸術性を感じるものに。 老若男女、誰でも楽しめるデザイン 建築物を「北西から南東へと続く自然の地形と色彩を表現するもの。四季折々の風景を表す。」のイメージで表す。 建物のスタイルより病院のように使いやすいように 芸術だ、美術だ、一流建築家だと堅苦しく固まらず、周囲の環境も含め、温かくリラックスできるような場所や建物であって欲しい 将来、完成した美術館に対して後悔のない、自信のあるスタンスを貫くことのできる建設。	12人	2%
常設展示場の設置。	9人	1%

ご意見の概要	回答件数	割合
ホールを備えた美術館。ホールの充実	8人	1%
屋上の緑地化や緑のカーテン、太陽光発電、LED等のエコ機能	8人	1%
一般の人が安くで利用できるギャラリー	7人	1%
建物の外観はシンプルにして、内部の機能を充実してほしい。	7人	1%
美術館と博物館の機能を併せ持つ施設	7人	1%
複合施設の充実(ミニコンサートや映像室・会議室)	7人	1%
オブジェ等を配置し、野外で楽しめる仕組みづくりを 庭に彫刻があること 美術だけでなく、周辺も利用できる多目的施設 自然の中に展示物を点在させ、そこで野外コンサートや神楽、野外文楽などを開催できるようにする 庭園やアプローチに有名な大分の彫刻家の作品のレプリカや建築家のユニークな模型などを展示する空間を持つ美術館。	6人	1%
ワークショップや交流のできる施設があるといい。 ワークショップなどが開催できる美術館。 ワークショップや口座、講習会やミニ講演会の企画ができること。	6人	1%
自然に配慮し、調和した施設	6人	1%
それぞれの機能が相互に絡み合って大分県美術館ならではの役割を果たすものになってほしい。 そのためには大分市美術館とは一線を画した独自の生き方を追求してほしい。	5人	1%
県の芸術情報の発信基地としての役割を果たしてもらいたい。県立美術館に行けば他の美術館やギャラリー団体などの情報が得られるといい。	5人	1%
自前で美術館のエネルギーを賄える設備は必須	5人	1%
生涯教育の場としての機能を設置してほしい。	5人	1%
展示室は個性的空間を作るため、多様な大きさ、形状のもので構成してほしい	5人	1%

【設問7】 美術館のコンセプトの中で共感する部分を以下の項目の中から選んでください。(複数回答可)

「成長する」美術館	716人
「四季を感じる」美術館	864人
「五感を刺激する」美術館	1,000人

【設問8】 答申の「大分らしい」「大分スタイル」の美術館について具体的なイメージ等ご意見をお聞かせ下さい。

428通り、823件の回答をいただきました。そのうち、5人以上回答があったものを記載しています。
全ての回答は、詳細版に掲載しています。

ご意見の概要	回答件数	割合
温泉、湯けむり	59 人	7 %
山と海	52 人	6 %
自然	44 人	5 %
温泉、竹、自然、音楽	30 人	4 %
竹、竹工芸	26 人	3 %
音楽、音楽(アルゲリッチ音楽祭)	25 人	3 %
県出身の芸術家の方たちの作品を常設展示	25 人	3 %
自然と共存するイメージ(青い海、緑の山、白い湯煙(温泉)の3つの要素が感じられるコンセプト)	21 人	3 %
大分らしさにこだわる必要はない。	13 人	2 %
温泉、竹、海、山など自然の恵みを来館者に実感できるものにしてはどうか。	10 人	1 %
温泉と竹細工	9 人	1 %
竹工芸、陶芸等の大分県が得意とする分野にも力を入れて欲しい	9 人	1 %
温泉、自然。	7 人	1 %
大分で活動しているアーティストや作品を使う	5 人	1 %
温泉県大分らしい温泉博物館的な機能を持たせる 温泉博物館的ものの併設。温泉をいかしたもの	5 人	1 %

【設問9】 県立美術館のコンセプトについてご意見があればお聞かせください。

95通り、252件の回答をいただきました。そのうち、5人以上回答があったものを記載しています。全ての回答は、詳細版に掲載しています。

ご意見の概要	回答件数	割合
<ul style="list-style-type: none"> ・世界的な名画展を開催し、県民も気楽に利用できる場所。 ・気取らず敷居の低い美術館。 ・ルーブル美術館のように母親が子どもを連れてエプロンがけでのぞくことができるような自由なムード漂う空間に近づけて欲しい。 ・美術館で待ち合わせと言えるような生活の延長線上にあり利用しやすい美術館。自分たちの応接間というのほすてき。 ・あまり肩肘を張らず県民のための施設であって欲しい ・アットホームな美術館 ・県民が広く利用できる美術館であってほしい。 ・買い物ついでに美術館を見るといった気軽さがあると、広く多くの人たちに活用してもらえと思う。 ・美術に興味のある人もない人もちよつと行ってみたいくなる美術館。 ・人が集える ・利用し易い美術館 ・美術館には敷居が高いイメージがあります。敷地内の展示会場以外の場所も会場と同じように重要だという意識が大切だと思います。ミュージアムショップだけに来る、カフェやレストラン目的、図書館が充実しているから・・・などの来場者がやがて作品に興味を持ってもらえれば良いのではないかと思います。 ・美術館は純粋に美術を鑑賞する場、県内外の質の高い作品を県民に鑑賞してもらう。県民が見たいと思うような展覧会を開催するといった考えで良いのではないか。県民や美術愛好かが利用し易い美術館であれば良いと思う。 ・美術品に触れたい人、寛ぎたい人、様々な人に利用してもらえる美術館 ・県民の参画 ・遊びに行く ・今までに行ったことがない人でも気軽に利用できるような美術館。 	20人	8%
<ul style="list-style-type: none"> ・美術鑑賞のみが目的でなくとも憩いの場所や遊べる場所となるもの。 ・くつろぐことのできる空間と眺めの良い景色。 ・食、温泉、観光、自然と併用した癒しが堪能できる美術館。 ・誰もが気軽に立ち寄れる多目的な癒しの空間 ・心と目の保養になる美術館。 ・誰もが「すごい」と感じる、なごめる美術館 ・大人が癒される場所。 ・今求められているのは和のノスタルジックな癒しの空間だと思う。周辺を含めた和の空間が構成できれば入館者も増えると思う。 ・癒しの要素を入れ、日常とは違った空間にする ・広さ、大きさだけでなく、美術館にでかければ一日中楽しめるそんな「心休まる」美術館が欲しいです。 ・1日中いても飽きないシンプルで安らげる空間づくり 	17人	7%
<ul style="list-style-type: none"> ・四季折々の植物を感じさせる美術館。 ・窓からの景観も素晴らしい美術館。 ・大都市圏のような外観がお洒落なだけの建物でなく、自然とマッチした美術館にして欲しい。 ・自然を活用できる美術館。 ・町か森がたくさん見える空に近い美術館 ・木や土、水や光等大分の自然を象徴させるものを活かしてほしい。 ・「海」「山」「温泉」「国際性」をコンセプトにして特色ある美術館に ・大分は日本で最も自然に恵まれた土地柄なので、温泉、水、森をイメージした施設 ・朝倉文夫、田野村竹田、高山辰雄、福田平八郎、宇治山哲平、糸園和三郎等日本の美術界に活躍した人を多く育てた大分の風土を見据えたコンセプトを考える。豊かな自然が多くの作家を生んだと思うので。 ・大分の自然をテーマに全国に発信する美術館 ・山、海、河、温泉と美しく、恵まれた自然環境を取り込める美術館 	13人	5%

ご意見の概要	回答件数	割合
<ul style="list-style-type: none"> ・美術館の見学だけでなく、他の楽しみも体感できる施設。 ・「観る、聴く、体験できる」美術館。 ・ふれることができる美術など必要 ・静かに作品鑑賞するだけでなく、美術の面白さを伝え、体で感じられる帰りたくない美術館 ・体験する美術館がおもしろいのではないか。 ・美術品作りの体験ができる美術館 ・子どもたちが本物の芸術や文化に直接・気軽にふれあえる施設 ・普段の生活とは異なった楽しみ、感動を体験できる場所。 ・来て・見て・体験・大分県！ ・見て、聞いて、触って、自分たちが参加できることが何人も興味を持つものであり、子どもたちの感性を磨いていくものである。 ・親子、友人、職場、学校、保育園、幼稚園等みんなで共感できると幸せ ・感動 	13人	5%
<ul style="list-style-type: none"> ・教育色を前面に出すのではなく楽しい場所 ・子どもたちに夢のある楽しめる美術館 ・嬉努愛楽(きどあいらく)ー嬉しい、努力してつくりあげる、愛にあふれた、楽しい ・どの年代でも楽しめる ・子ども達を含め様々な人々が気軽に文化を楽しめる場所。美術鑑賞も含め音楽鑑賞、またそれらに付随したショッピングができたり、子どもも大人もワークショップが楽しめるなど、美術館周辺が公園なども含め、豊かな文化と接することができ、くつろぎの場となるもの。 ・あらゆる人が楽しめる刺激を受ける場 ・芸術文化に触れながら、県民も観光客もその空間を楽しめる施設 ・アートを勉強する、のではなく、体験し、楽しむ美術館。「わからない」を楽しむことも大事 ・利便性、広がり、明るい、楽しい、夢がある 	12人	5%
<ul style="list-style-type: none"> ・県民に親しまれる愛される美術館。 ・県民が親しみやすい美術館。 ・長く、身近に親しめる美術館であってほしい。 ・親しみやすい、気軽に利用できる ・世代をこえて親しまれる美術館に ・親しみやすく誰でも行きやすい ・老若男女、気軽に足を運べる親しみやすい美術館 	9人	4%
<ul style="list-style-type: none"> ・美術界の権威を称えるような「美術館」ではなく、新しいものを育てる美術館、挑戦が許される美術館。 ・アートを紹介し、人材を発掘するための人材育成の場となって欲しい。 ・大分のアーティストを大切にしてい「大分」にしたい ・大分の芸術家の継承。若手の発掘・育成 ・「県民を育てる美術館」学校教育や普段の生活とは違ったものを見る眼を養い、経験し、もって人格の豊かな大分県が誇れる人材を育てる美術館になってほしい。 ・次世代の芸術家を輩出して欲しい ・若手芸術家の育成 ・多くの施設、アーティストが集積していく『芸術村』をめざす ・芸術家を育てる美術館 	9人	4%
<ul style="list-style-type: none"> ・世界に通用する美術館。留学生も多く、南蛮文化発祥の地であり国際的な視点を入れていくべき。 ・アジアからの留学生が多いので、アジアとの一体感を醸成する展示をコンセプトに ・「グローバル」な美術館 ・「海外の美術作品にもっとふれあう」美術館 ・世界に開く大分の美術館 ・卒業後のAPU留学生との接点の維持 ・他県や外国からも来てもらえるような美術館 	8人	3%

ご意見の概要	回答件数	割合
<ul style="list-style-type: none"> ・4次元の世界をイメージできる美術館。(過去から現在、そして未来へ) ・現代アート、デジタルアート、動画アート、著名マンガ、アニメ。次世代の才人となるアートジャンルも重視。過去・現代・未来を繋げるイメージ。 ・「未来にはばたく」美術館 ・日本にもない、世界に目を向けてもない、未来派の「ミュージアム」。 ・現在・過去・未来が調和する美術館 	6人	2%
<ul style="list-style-type: none"> ・大分県はどの地域にも自慢できる観光資源がある。美術・芸術の視点での大分各地の資源を全国、そしてアジアに発信して欲しい。 ・ONSENツーリズムとマッチさせたもの。 ・バスで団体の旅行者が来るくらい有名な施設 ・観光ルートに乗せうるくらいのも。福岡にある九州国立博物館のような全国的に誇れるもの ・観光振興 ・県民を中心とした、県民に愛される、観光客も訪れたい美術館 	6人	2%
<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の拠点施設となること ・何度行っても学べる美術館 ・大分の作家を学習できるコンセプトも取り入れてほしい。 ・子どもたちに真の芸術を楽しみ伝えられる芸術発信の基地 	5人	2%
<ul style="list-style-type: none"> ・県民の参加できる美術館 ・県民参加型の美術館 ・県民全員参加型の美術館 ・県民参加の豊かな人間関係を築く美術館であってほしい 	5人	2%
<ul style="list-style-type: none"> ・時代の子どもたちに感動を与えられる場。 ・子どもが育つ精神文化の源。 ・老人と子どもの意見が聞こえる美術館 ・子どもたちに美の良さを伝えられるもの ・子どもに安心 	5人	2%
コンサートやスポーツ、ウォーキングなどと一体となれる美術館	5人	2%

【設問10】 新しい美術館にどのような事業活動(企画展示)を期待しますか？

639通り、1,065件の回答をいただきました。そのうち、5人以上回答があったものを記載しています。全ての回答は、詳細版に掲載しています。

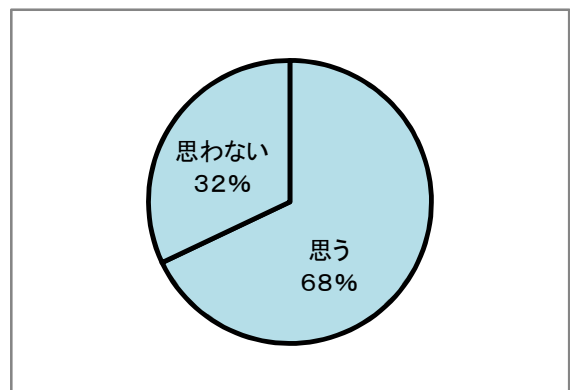
ご意見の概要	回答件数	割合
教育活動の拠点施設となること	70人	7%
文化芸術の創造及び鑑賞発表の場とすること	56人	5%

ご意見の概要	回答件数	割合
中央でしか見ることのできない企画展の誘致。 都会でしか見られないような展覧会の巡回展。 全国巡回をしている有名作家の美術展。 ゴッホ展のような誰でも知っている全国的、世界的に有名な画家の展覧会。 海外や他県に行かないと見ることのできないアーティストの展覧会。 日展や院展などの巡回展。 国際的に有名な絵画展	45 人	4 %
現代美術作家・現代アートの展覧会	31 人	3 %
文化芸術の創造及び鑑賞・発表の場とするとともに教育活動の拠点施設にすること	30 人	3 %
常設展示があるように。常設を充実してほしい。 芸術会館の収蔵品を常設展示して欲しい。	21 人	2 %
若手芸術家の育成	14 人	1 %
県民と連携した生涯学習の機会となるもの。	10 人	1 %
親しみやすく、素直に楽しめる企画展。 他館の資料を借用しての展覧会の実施。 世界的名画展等人が多く集める展示。 常に斬新な企画を追求。 県内では江戸時代に小藩が分立していたので、各地の個性が育まれている。その土壌を中央集権的に一律化するのではなく、地域を活性化する企画を常時提案する全県文化プロデューサーとしての姿勢が必要だと思う。 大分市の遊歩公園などに点在する彫刻やモニュメント等の紹介やその企画展なども重要な普及活動と捉えていくようなコンセプトを設けて欲しい。	7 人	1 %
キャラクターやアニメ、漫画等の展覧会	6 人	1 %
芸館収蔵品の大分の作家の作品が見たい	6 人	1 %
美術館の設置が市町村の発展につながっていけばよい。 温泉との結合・関係のしくみづくり 香りの博物館とタイアップする 関係機関(特に教育機関)との連携を重視し、均衡ある地域活性化につながる取り組み 既存の美術館、博物館との連携。 全国的にも珍しい公立の芸術文化短期大学と芸術緑丘高校を有する大分県であるので、これらの学校との連携姿勢を明確に出してもらいたい。	6 人	1 %
アジアの国々の美術品の企画展。	5 人	0 %
県内大学との連携。	5 人	0 %
写真展もしてほしい。	5 人	0 %
皆が興味を持ち、楽しめる企画	5 人	0 %

ご意見の概要	回答件数	割合
<p>地元からの館長起用を。 若い美術に熱のある方を持って来る。建物が立派でも中で働く人が大切であると思いません。 質問を常に出せて、答えが返ってくるようなボランティアまたは学芸員の常駐。 企画者、学芸員の充実とその人材確保。 芸館は県庁マンの天下り先になっている。事務室を見ても何をするでもなく過ごしている。副館長も2人いて1人は1年で変わっている。運営や人材について将来を展望した長期計画に基づいて効率よくやって欲しい。</p>	5人	0%

【設問11】 答申では、「県民の皆さんに美術館の運営などに積極的に参画してもらうことが大切です」としていますが、あなたは「友の会」のようなボランティア活動に参加するなど、美術館の運営に携わりたいと思いますか？

思う	721人	68%
思わない	340人	32%
計	1,061人	100%



【設問12】 その他「大分県美術館構想検討委員会」の答申についてご意見があればお書きください。

423通り、571件の回答をいただきました。そのうち、5人以上回答があったものを記載しています。全ての回答は、詳細版に掲載しています。

ご意見の概要	回答件数	割合
<p>ぜひ別府市に美術館を建設してほしい。 温泉の湯けむり、海と山の景観は世界に誇れる。おもてなしの別府は最適。 別府に来る観光客に来てもらえるような美術館を創ってほしい。 別府市は温泉、自然に恵まれアルゲリッチ音楽祭等多くの芸術にも恵まれている。 別府の温泉観光文化都市としての、温泉文化・観光文化・山と海に囲まれた湯けむりのある別府らしさがみられる美術館を建設してほしい。 別府は「日本のナポリ」といわれている。 別府は海山に囲まれ、温泉がなんと言っても宝のようなもの。連なる山に四季を演出するという美術館に最もふさわしい地であり、魅力的な美術館となりそう。 別府は観光客や外国人が多く、大分県の芸術を知ってもらい、広げることが可能である。 別府は恵まれている。 湯の町にまつわる芸術もあると思う。それらを活かした出展ができるような環境があると別府の発展にもつながる。 湯の町別府のアピールにつながる。 温泉成分の影響を避け、工場から出る排出ガスや海からの潮風の影響を受けない別府に美術館を建設すれば、湯の町別府というアピールにつながる。</p>	37人	6%

ご意見の概要	回答件数	割合
<p>基本構想に基づいていれば特に意見なし。 答申に賛同する。 答申の趣旨を活かすための英知を結集して欲しい。 答申どおりすべてが達成できるように最善の努力をして欲しい。 答申で十分にまとめられている 大分県民の美意識の高さを評価している点でとてもよい どれも良い 検討委員会の3つのコンセプトには大賛成。「生きている美術館」の建設が予感できる。 3つともすばらしいと思う。 コンセプトは立派なものだと思う。(「大分らしさ」「大分スタイル」は別として)素晴らしい美術館をつくってください。 答申の内容はとても素晴らしいと思います。このような美術館が大分に出来たらとても嬉しいし県民として誇りに思います。</p>	25人	4%
<p>出来るだけ早い時期に実現して欲しい。 早期の美術館建設を願っている。</p>	21人	4%
<p>由布市湯布院町の調査研究検討を進め、是非由布市に来て欲しい。 由布院という世界中に通用するブランドイメージを大分の宝として美術館構想に活かして欲しい。 由布院は、より多くの人に足を運んでもらうには、交通アクセス上、最も優れている。 大分県のど真ん中が由布市。 大分県を訪れる観光客にどの場所を紹介したいか考えた場合、まず思い浮かべるのは「由布院」ではないか。美術館があれば観光客に胸をはって紹介できる。 全国ブランド湯布院。 夏は避暑地、冬は雪化粧という湯布院のロケーションは、四季を感じる美術館にぴったりだと思う。 美術館のある土地を訪れる魅力が美術館の魅力に繋がっていること。由布院の自然に繋がる。 湯布院町には小さな美術館が点在しており、この地に中核となる県立美術館が建設されることで、美術館のまち湯布院として更に多くの観光客の期待が広がる。また由布岳をバックにした背景が非常に絵になる。四季折々に違った印象を抱く。 湯布院町は全国的に訪れてみたい町の上位にあげられ、注目されており、地域の環境も素晴らしく、交流者も多く望める。 湯布院は20年間アートホールの活動を続けているので地域の人々に受け入れられやすい。県立美術館とアートホールが連携した作品展も期待できる。 湯布院町は大分の中でも特に四季を強く感じる事が出来る地域であり、美術館に行くことが一つの行楽となり、今まで以上に集客できる。 交通の便が良く、景観も由布山をバックに最高 南由布から全国へ発信する芸術の拠点 訪れやすく、由布岳が美しく見え、四季の変化が感じられる 一周歩くのに約2時かかる由布院に彫刻品など展示する「自然の中にある美術館」構想。 盆地そのものの暮らしの息づかいのする美術館にする。本田静六博士の提言はこの考え方にヒントを与えてくれる。 県内観光地のトップである湯布院町に町と一体化した美術館があれば「おもしろい」と思う</p>	20人	4%
<p>海外作家の作品展を多く開催している県外の美術館を参考にしているかどうか。 いろいろな美術館を様々な分野の人と一緒に視察し、意見を出し合って決めて欲しい。 県内、近県の美術情報を多く集めてほしい 金沢の美術館のような美術館にしてほしい。 四国の島に安藤忠雄の美術館が有名で特徴がある</p>	7人	1%

県の考え方

「県立美術館基本構想答申」について、平成22年12月15日から平成23年1月31日までの間、ご意見を募集しました。

答申の内容に沿って12項目の設問を設け、それぞれご意見を募集したところ、1,913名の方々から総計18,726件のご意見をいただきました。

今後、県民の皆さまから寄せられた貴重なご意見を参考とさせていただき、具体的な立地場所を踏まえ、県としての美術館構想を早急に策定します。